

台風
ゲリラ豪雨

水害から身を守る

まちを守る みんなで取り組む 流域治水

県では、昭和57年の大和川大水害をきっかけに、国、県、市町村、流域に住む方々や企業などの協力のもと、河川や遊水地を整備する「なぐす対策」、降った雨を一時的に貯める「ためる対策」、浸水の恐れのある区域の市街化区域への編入を抑制する「ひかえる対策」を3本柱とした総合治水を進めてきました。

令和3年の改正特定都市河川浸水被害対策法施行後、全国で初めて大和川が特定都市河川に指定され、新たな土地利用対策などが加わり、より一層流域治水に取り組んでいます。

内水対策が進む市町村では 水害に強いまちが誕生

河川水位の上昇や豪雨により、川に排水できなくなると、あふれた雨水で土地や建物がつかってしまう「内水氾濫」という現象が起きます。大和川流域では、内水氾濫が頻発していることから、県が財政的、技術的支援を行い、流域市町村が適地に雨水貯留施設を整備する「奈良県平成緊急内水対策事業」を進めています。

昨年6月の豪雨では、田原本町が阪手地区で整備した貯留施設が初めて稼働し、内水被害の発生を抑え込むなど、内水対策が進んでいる地域ではこれまでよりも水害に強いまちになりました。



平成29年
10月豪雨

総雨量が
166mmの時点で
浸水被害が発生

雨水貯留施設の整備



【貯留量】
約5,000m³

田原本町が整備した雨水貯留施設が初めて稼働。総雨量で176mmを観測しましたが、貯留施設の流域内では浸水被害は発生しませんでした。

令和5年
6月2日
豪雨

雨水が施設内の
高さぎりぎりまで
貯まりました



約4m

ここに雨水を
貯めたおかげで
まちが水につからな
かったんだね！

今回の雨で、
貯留施設の整備の
効果が実感できた。
整備していただいた
ことに感謝。

貯留施設ができて効果が出ている地域でも、浸水被害がなくなるわけではありません。
気象情報や市町村が発表する避難情報を確認して、早めの避難をお願いします。

詳しくはこちら▶

県では、平成緊急内水対策事業の進捗状況の「見える化」を進めています



7月に入ると、日本列島に接近する台風が増え始めます。近年は、台風だけでなく「記録的短時間大雨」(突発的で予測が難しい局地的大雨)や「線状降水帯」(線状に発生し続け、激しい雨を降らせる積乱雲群)などにより、全国で大規模な水害が発生しています。私たちの住む奈良県では、水害を未然に防ぎ、県民一人一人がもしもに備えられる、さまざまな取り組みを行っています。

自分を 守る

危険性を正しく知り、
身を守る心構えを

洪水などの自然災害は、時として人知を超える力で襲ってきます。「我が家」「自分」「家族」を守るためには、自分が住む地域や活動する地域にどのような危険が潜んでいるのか日ごろから防災情報にアンテナをはり、リアルタイムに正しい情報を得ることが大切です。県では、河川の水位を随時確認できるシステムや浸水想定区域図など防災に役立つ情報を公開しています。もしもの時でも慌てず適切に行動できるよう、まず情報に触れてみてください。

大雨のときに河川に
近づくのは絶対にダメ！
安全な場所から状況を
確認して適切な行動を！



河川のイマが一目でわかる

奈良県河川情報システム

観測した雨量や河川の水位、河川監視カメラの画像を、奈良県河川情報システム（HP）でリアルタイムに公開しています。表示された地図から知りたい地域を選ぶだけでリアルタイムの情報を確認することができます。

パソコンから

気になる地域へ

スマホから

気になる地域へ

夜でも水位がわかります

拡大表示できます

奈良県河川情報システムは
こちらから

奈良県河川情報システム



アラームメールの登録もできます

気象警報・注意報の発令時や、降雨量の多い時、水位が上昇した場合にメールを配信します。



複数河川のリスクが一度にわかる

洪水浸水想定区域図がリニューアル

新しくなった奈良県災害リスク情報システムでは、土砂災害警戒区域の場所や、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を同時に確認できるようになりました。日ごろから、身の回りにどのような災害が起こる可能性があるかチェックしておきましょう。

地図上の任意の地点をクリックすると、どの河川の浸水リスクがあるのかを確認できます

属性表示

区域図の種類	想定最大規模降雨
河川名	大和川
想定浸水深	4.666m
河川名	富雄川
想定浸水深	1.558m

こんなことが確認できます

- 1 自宅周辺の浸水深を詳しく知りたい
▶ 細かな浸水深まで確認
- 2 近くに川はないけど、気を付ける必要があるの？
▶ どの河川からの浸水リスクがあるのか確認
- 3 近くに山も川もあるけど…
▶ 土砂災害警戒区域等と洪水浸水想定区域を同時に表示

この3つの機能を備えたシステムは奈良県だけ！



奈良県災害リスク
情報システムは
こちらから

いろんな災害リスクを
一度に、細かく確認できる
ようになったんだね！

